

健障福第281号
平成21年4月28日

居宅介護・移動支援事業所 各位

健康福祉局障害福祉課長

新型インフルエンザに対する対応について（情報提供）

今回のメキシコ及び米国の一部における豚インフルエンザ事例に伴い、新型インフルエンザの警戒レベルがフェーズ3Aから4Aに引き上げられました。

これに伴い、情報提供及び今後の対応等について以下の項目を実施またはご検討いただけますようお願いいたします。

（現時点の警戒レベルはフェーズ4A（ヒトからヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認されているが、感染集団は小さく限られている。国内患者非発生）となっています。）

1 対応、検討事項について

- (1) できる限りの情報収集（マスコミ、厚生労働省発表情報等）に努めてください。また、横浜市ホームページには、トップページで豚インフルエンザの情報を適宜更新していますのであわせてご覧ください。

<http://www.city.yokohama.jp/front/welcome.html>

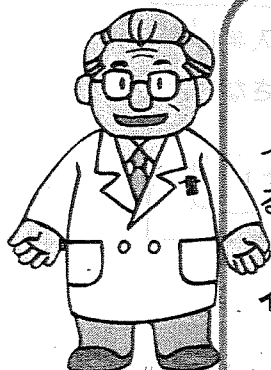
- (2) 通常のインフルエンザと同様に、手洗い（特に咳をした後や、排泄介助後などは念入りに行ってください。）や咳の拡散防止の徹底をお願いします。また、消毒薬の準備なども検討してください。
- (3) メキシコなど、豚インフルエンザが発生している国・地域への海外渡航については、冷静な判断をお願いします。
- (4) 職員に新型インフルエンザと疑われる症状が出た場合には、速やかに健康福祉局健康安全課及び各区福祉保健センターに設置されている相談窓口（発熱相談センター）に相談してください。（相談窓口の電話番号：別紙のとおり）
- (5) 現段階で、警戒レベルが次の段階（フェーズ4B（フェーズ4A から国内患者が発生した場合））以上に引き上げられた場合の対応について、検討をお願いします。

2 参考資料

「みんなで実践！今からできる 新型インフルエンザ対策」リーフレット

担当 横浜市健康福祉局 障害福祉課 生活支援係
TEL：671-2401・671-2402 FAX：671-3566

みんなで実践！今からできる 新型インフルエンザ対策



あなたとあなたの家族を守るために！

新型インフルエンザとは、これまで人が感染したことのない、新しいタイプのインフルエンザです。誰も免疫（抵抗力）を持っていないため、ひとたび発生すると多くの人が感染し、世界的な大流行（パンデミック）を起こすと心配されています。今、新型インフルエンザの発生が近づいているといわれています。新型インフルエンザの発生に備えて、正しい知識を身につけ、今から準備を進めましょう。

～まずは正しい知識を身につけましょう～

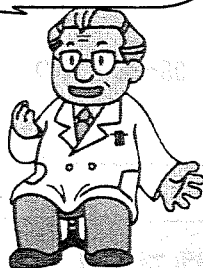
1 新型インフルエンザとは **誰も抵抗力を持っていない！**

- 新型インフルエンザは、鳥などの動物に感染するインフルエンザウイルスが、人にも感染するようになり、さらに、人から人へと感染しやすく変化して発生すると考えられています。
- 現在、東南アジアなどでは、鳥の間で流行しているインフルエンザウイルス（H5N1などのタイプ）が人にも感染したという報告が続いており、これらが新型インフルエンザのウイルスに変化するのではないかと心配されています。

2 新型インフルエンザが発生すると **多くの人が感染する！**

- ほとんどの人が新型インフルエンザに対する免疫（抵抗力）を持っていないため、ひとたび発生すると、短い期間のうちに世界中で大流行し（パンデミック）、多くの人が感染すると考えられています。
- 20世紀には、10～40年の周期で3回の新型インフルエンザの大流行があり、多くの患者や死者が出ました。特に、1918年のスペインインフルエンザでは、大きな被害が出ました。
- 新型インフルエンザの感染力などは、実際に発生しないと分かりませんが、政府は、過去に流行したスペインインフルエンザやアジアインフルエンザの被害を参考に、新型インフルエンザが発生した場合、人口の約25%が感染すると予想しています。

過去の新型インフルエンザも、すべて鳥インフルエンザウイルスが変化したものでした



20世紀の新型インフルエンザの世界的大流行（パンデミック）

1918年 (大正7年)	スペインインフルエンザ (H1N1型)	約4,000万人死亡 (日本で39万人死亡)
1957年 (昭和32年)	アジアインフルエンザ (H2N2型)	約200万人死亡
1968年 (昭和43年)	香港インフルエンザ (H3N2型)	約100万人死亡
20XX年？	次のインフルエンザ発生(H5N1)？	

～家庭でできる準備を始めましょう～

世界のどこかで新型インフルエンザが発生すると、短期間に日本に侵入して大流行になる可能性があります。正しい知識を身につけ、今から対策を行いましょう。

正しい情報を入手しましょう

- テレビやラジオ、新聞などを通して、政府や自治体が発表する最新の正確な情報を入手しましょう。流行時には、様々な情報が飛び交うことが予想されます。パニックを起こさないよう、今から正しい知識を身につけておきましょう。

全ての感染症対策の基本です！

日ごろから感染対策を心がけましょう

- 日ごろから、一人ひとりが感染対策を習慣づけておきましょう。

- ・十分な栄養と睡眠をとり、体力や抵抗力を高める
- ・外から帰ったときには手を洗い、うがいをする
- ・“咳エチケット”を心がける。外出するときはマスクをする

【咳エチケットとは】

- ・咳やくしゃみをするときは鼻と口をティッシュなどで覆う
- ・使用したティッシュはすぐにフタ付のゴミ箱に捨て、手を洗う
- ・症状のある人はマスクを正しく着用する（健康な人がマスクをしても、ウイルスの吸入を完全に防げるわけではないことに注意が必要です）

- 不特定多数の人が集まる場所への外出を控えましょう。

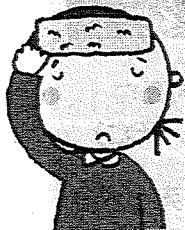


発症した場合の正しい対処法を身につけておきましょう

- 新型インフルエンザが発生したときには、感染が疑われる方のための専門外来を設置する予定です。38℃以上の発熱と呼吸器症状等が認められる場合は、まず、保健所に電話で連絡して、指示を仰いでください。
- 医療機関を受診する際は、マスクを着用し、スタッフの指示に従ってください。
- 感染が疑われた場合、保健所が、患者さんや家族の調査を行うことがあります。
- 流行の初期には、感染が確認された場合、専門の病院に入院して治療を行います。

流行時の注意を心得ておきましょう

- 症状がない時は、むやみに医療機関を受診しないようにしましょう。逆に、患者さんと接触して、新型インフルエンザに感染してしまう可能性があります。
- 感染した人が増えて医療機関が満床になれば、軽症のうちは自宅で療養することになります。誰が感染しても大丈夫なように、家庭でも看護時の注意を確認しておきましょう。



- ・患者さん専用の部屋を用意し、定期的に換気する
- ・患者さんも家族も、マスクを着用する
- ・患者さんの世話をした後は、よく手を洗う
- ・患者さんが触れた場所は、70%の消毒用エタノールもしくは0.05～0.5%の次亜塩素酸ナトリウムでふき取り、消毒する

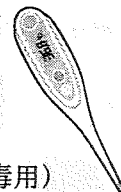
新型インフルエンザに感染しないためには

- 不要不急の外出を控え、感染の機会を減らすことが一番大切です！

2週間を目安に、食料や日用品、水などを備蓄しましょう

- 新型インフルエンザに感染しないためには、できるだけ外出をしないことが大切です。
- また、電気、ガス、水道などのライフラインに影響が出たり、物流が停滞して食料品や日用品が手に入りにくくなることが予想されます。下の表を参考に、今から少しずつ備蓄を始めましょう。(これらは、地震や停電の時にも役立ちます。)

保存食の例 【食べ物】	器具等の例 【電化製品】	医療・衛生資材の例 【医療器材】
<input type="checkbox"/> 米・乾麺 <input type="checkbox"/> 切餅 <input type="checkbox"/> 乾パン <input type="checkbox"/> シリアル、コーンフレーク <input type="checkbox"/> 肉・魚・果物・野菜・豆・スープの缶詰 <input type="checkbox"/> レトルト食品 <input type="checkbox"/> フリーズドライ食品 <input type="checkbox"/> インスタント食品 <input type="checkbox"/> 木の实・ドライフルーツ <input type="checkbox"/> クッキー <input type="checkbox"/> キャンディー <input type="checkbox"/> ピーナッツバター <input type="checkbox"/> 冷凍食品 <input type="checkbox"/> 特殊な食品（特に介護が必要な方がいる場合） <input type="checkbox"/> ベビーフード、粉ミルク <input type="checkbox"/> その他の保存食	<input type="checkbox"/> 携帯電話・充電キット <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> 携帯テレビ <input type="checkbox"/> 乾電池 <input type="checkbox"/> 手動式充電器	<input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> 絆創膏・ガーゼ・脱脂綿 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> ゴム手袋 <input type="checkbox"/> 氷枕 <input type="checkbox"/> 塩素系漂白剤 （室内の清掃・消毒用） <input type="checkbox"/> 血糖測定・血圧測定機器など （医師の指示のある方）
	【台所用品】 <input type="checkbox"/> ビニール袋（各種サイズ） （汚染されたごみの密閉に利用） <input type="checkbox"/> 缶切り <input type="checkbox"/> 携帯用ガスコンロ <input type="checkbox"/> コンロ用ガスボンベ <input type="checkbox"/> 紙食器 <input type="checkbox"/> アルミホイル <input type="checkbox"/> 洗剤	【医薬品類】 <input type="checkbox"/> 常備薬（解熱薬・胃腸薬など） （解熱剤や風邪薬は、成分によってはインフルエンザ脳症を助長する可能性があります。購入時は、必ず医師や薬剤師に確認してください。） <input type="checkbox"/> 手指消毒薬 （アルコールを含むもの） <input type="checkbox"/> イオン飲料（粉末）
【飲物】 <input type="checkbox"/> ミネラルウォーター （3～4リットル／人・日） <input type="checkbox"/> イオン飲料（スポーツ飲料） <input type="checkbox"/> 缶ジュース	【日用品その他】 <input type="checkbox"/> 石けん <input type="checkbox"/> シャンプー・リンス <input type="checkbox"/> トイレットペーパー <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー <input type="checkbox"/> ウエットティッシュ （アルコールを含むもの） <input type="checkbox"/> 生理用品類 <input type="checkbox"/> ロウソク・マッチ	【その他】 <input type="checkbox"/> 排泄物処理（固化剤） <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
【その他】 <input type="checkbox"/> 調味料 <input type="checkbox"/> サプリメント類 （ビタミン剤など） <input type="checkbox"/> ペットフード （動物を飼っている場合）	<div>これは一例です。ライフスタイルに合わせて、必要な物品を備蓄してください。</div>	



家族全員で、発生時の対策を考えておきましょう

- 学校や保育所などが休校になった場合、子どもたちが家庭で安全に過ごせる方法を考えておきましょう。
- 公共交通機関が停止した場合、公共交通機関を利用しなくてもよい方法を考えましょう
- 緊急の受診に備え、家族の健康に関する情報を整理しておきましょう
- ・ 持病の有無、現在服用している薬、子供の場合予防接種歴、アレルギー（食物、薬等）など

3 新型インフルエンザはどんな病気

重い症状が出る!?

- 通常のインフルエンザと同様、感染した人の咳やくしゃみなどの飛沫^{ひまつ}とともに放出されたウイルスを吸い込むことにより感染します。また、ウイルスが付着したものを触った手で、目や鼻の粘膜を触ることで感染するといわれています。
- 新型インフルエンザの症状は、実際に発生しないと分かりませんが、新型インフルエンザに変化すると言われている鳥インフルエンザ（H5N1）に人が感染した場合は、発熱、咳などの一般的なインフルエンザ様の症状に加え、重い肺炎が多くの人に認められました。新型インフルエンザでも、同様の症状が出る可能性があります。
- 症状が出る前日から感染力を持つため、気付かぬうちに感染を広げる危険性があります。

通常・鳥・新型インフルエンザの症状

	通常のインフルエンザ	鳥インフルエンザ	新型インフルエンザ
原因ウイルス	ソ連型（H1N1） 香港型（H3N2）	（H5N1）	不明 （H5N1?）
感染力	強い	非常に弱い	強い
主な症状	発熱・鼻水・咳 のどの痛み・筋肉痛	発熱・重症肺炎 全身症状	発熱、咳、肺炎?

4 発生した場合の被害予想は

市民の25%が感染!?

【人への被害予想】

- 人口の25%が感染した場合、横浜市中で医療機関を受診する人は48万人と予想されています。

【社会的な被害予想】

- 医療機関に感染した人が殺到し、医薬品や医療機器が不足することが予想されます。

本市における医療機関受診者数の予測

医療機関を受診する患者数		483,148人
内訳	外来患者数	468,564人
	入院患者数	11,758人
	死亡者数	2,826人

（平成17年1月末現在年齢別人口より試算）

医師や看護師に感染が広がれば、医療が停滞することが考えられます。

- 多くの人が同時に感染する上、流行は2～8週間続くと考えられるため、電気、ガス、水道などのライフラインに影響が出たり、物流や輸入が停滞することが予想されます。
- 社会不安により治安が悪化したり、パニックが起こる可能性があります。
- 行政サービスが一部休止したり、公共交通機関が運行を縮小する可能性があります。
- 学校や保育所、事業所などの閉鎖、イベントや各種集会の中止、福祉サービスの縮小などが検討されています。また、外出の自粛など、日常生活が制限される場合もあります。

5 新型インフルエンザの最新情報は

ホームページをチェック!

- ・横浜市健康福祉局ホームページ:

http://www.city.yokohama.jp/me/kenkou/hpai/new_hpai.html

- ・厚生労働省ホームページ:

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>

○4月27日（月）以降の相談窓口

相 談 窓 口	電話番号	窓口開設時間
健康福祉局健康安全課	671-4183	○平日 午前9時～午後9時 ○休日 午前9時～午後5時
鶴見区福祉保健センター	510-1832	○平日のみ 午前9時～午後5時
神奈川区福祉保健センター	411-7138	
西区福祉保健センター	320-8438	
中区福祉保健センター	224-8332	
南区福祉保健センター	743-8241	
港南区福祉保健センター	847-8435 8436	
保土ヶ谷区福祉保健センター	334-6345	
旭区福祉保健センター	954-6146	
磯子区福祉保健センター	750-2445	
金沢区福祉保健センター	788-7825	
港北区福祉保健センター	540-2362	
緑区福祉保健センター	930-2357	
青葉区福祉保健センター	978-2438	
都筑区福祉保健センター	948-2352	
戸塚区福祉保健センター	866-8426	
栄区福祉保健センター	894-6964	
泉区福祉保健センター	800-2445	
瀬谷区福祉保健センター	367-5744	